

礼拝参加にあたって (2022年 2月)

—COVID-19の影響のもとにある教会の礼拝と集会—

神さまのいのちと愛、平和と正義の交わりの中に、私たちは生かされています。

感染症の劇的な拡大には至っていませんが、安全対策が確立されて終息に向かうまでには、まだまだ時間がかかりそうです。その間、私たちは、新しい生活様式を工夫し、また必要な状況にあわせながら、教会の活動を続けてゆきたいと思えます。

だれもがこのウイルスに接している可能性、新たな感染者となる可能性があることを常に心にとめます。またどのような状況になっても、これからも信仰と希望を失うことなく、一層の配慮を必要とする人びと、社会の中で弱くされている立場の人びとへの配慮を忘れることなく、過ごしてゆきましょう。

私たちは新しい生活、新しいあり方、そして新しい表現を探しながら、この社会のなかで人と人が支え合いながら過ごす信仰生活を求めてゆきます。感染症への対応として、また人びとのいのちを守り、社会的な責任を持つ信仰者のひとりとして、教会の礼拝や集会に出かけないという選択をせざるを得ないという苦悩もまた、キリストと共にあることのしるしとして、祈りとともにお献げいたしましょう。

そこで、私たちは以下のように、それぞれが注意しながら、教会の礼拝・宣教・奉仕の交わりに加わり、共働して進んでゆきます。 (2020年6月記す)

1. 礼拝・集会などに出かける前に (当日および前日)

- ① カゼのような症状があるとき、体調や気分が優れないときは、自宅で待機します。
- ② 出かける前に体温を測ります。平熱より1℃以上高いときには、自宅で待機します。
- ③ 移動の経路を確認します。公共交通機関の利用をできるだけ避け、徒歩、自転車、自家用車などを利用する工夫をします。
- ④ マスクを用意してでかけます。移動中も会話などは避けるようにして、マスクの着脱、水分補給など、感染予防、熱中症などに気をつけます。(飲み物は各自持参します。教会に用意はありません。)
- ⑤ 出かけないという決断も大切にします。移動手段などを含め、礼拝出席に不安のある方、基礎疾患のある方やご高齢の方などは、無理な外出を避けます。
- ⑥ 出席カードをお持ちの場合はあらかじめ記入して持参します。筆記用具やそれぞれの祈禱書、式文の用意が必要なときは持参します。
- ⑦ 日曜日10時半の礼拝に参加の時は、礼拝参加のグループ分けをよく確認します。
(下記の「3. 主日(日曜日)・週日の礼拝参加とグループなど」参照。)
聖アンデレ教会では、当面、各礼拝の参加を約50席以下といたします。そのため主日午前10時半の礼拝については、グループを設定し参加者を限定いたします。
- ⑧ 当面、所属教会および徒歩や自転車などでゆくことができる近隣の教会以外の礼拝、集会には出かけないことをおすすめします。ただし、所属教会以外の集まりに参加を希望する場合は、出席予定日前日の昼までにその教会に連絡を取り、参加の許可を得るようにします。また、申込みや予約などが必要な場合は、忘れずにします。

2. 礼拝に出席するときに注意したいこと

(A) すべての礼拝に関して

- ① マスクは着用したまま、礼拝に加わります。
- ② 聖堂の外に設置される専用の手洗い場で、手をよく洗います。
- ③ 出席カードを記入していない場合は、記入台で記入します。(筆記具ご持参ください)
- ④ 掲示されている注意事項を確認します。不安がある方、希望者は検温を行います。
- ⑤ 記入した「出席カード」(初めての方は「新来者カード」)を所定の箱に入れます。
- ⑥ 礼拝中、献金は集めません。受付付近の献金箱に入れてお献げします。
- ⑦ 手指を消毒して入堂し、聖堂入口に置いてある式文、週報を取ります。
- ⑧ 堂内の座席は1席または2席で1組となっています。同居・同伴の方は並んで着席いただくことができます。
- ⑨ 荷物は床には置きません。空いている座席や座席下の荷物棚に置きます。
- ⑩ 席に着き、人と人の距離(1.5m程)に注意し、できるだけ移動や接触を避けます。
- ⑪ 堂内ではできる限り沈黙をまもり、挨拶は席から移動せず、会釈にいたします。
- ⑫ お祈りを唱えるときや歌うときは、小声で、あるいは心の中で唱えまたは歌います。
- ⑬ 礼拝後、すぐに席を立たず、通路・出入口の密を避けるため、案内を待ちます。
- ⑭ 礼拝後には、係がそれぞれペーパータオルをお渡しし、薬液を散布し、ご自分が使用された椅子の背もたれと両脇の木部、座面を拭いていただくことがあります。使用したペーパータオルは出口付近の専用のゴミ箱に入れます。
- ⑮ 退出は、人との間隔をとって順次に退出します。使用した備付けの礼拝用書は所定の入物に戻し、週報などは忘れず持ち帰ります。
- ⑯ 出口付近や屋外でも、密集・接触しないようにし、速やかに教会を離れます。
- ⑰ ホール、トイレ、事務室、駐車場などでの会話や飲食は避けます。
- ⑱ 礼拝後、敷地内に留まらないようにします。
- ⑲ 聖餐式/み言葉の礼拝への出席は、当面1日1回を限度とします。

(B) 聖餐式が行われるとき(くわえて注意していただきたいこと)

- ① 「平和の挨拶」は、場所を移動せず、相互に会釈して行います。
- ② 「奉献」のパンとぶどう酒はあらかじめクリーデンスに用意します。
- ③ 陪餐前の唱和「あなたのために与えられた(流された)主イエス・キリストの体(血)」
「アーメン」は、陪餐前に全員で唱えます。それぞれが陪餐するときは、沈黙を守り、唱和の言葉は心の中で唱えます。
- ④ 洗礼・堅信を受け、陪餐の許しのある方は、パンとぶどう酒をいただきます。また他の教派の教会で洗礼を受けて聖餐に与っている方の陪餐を許可し歓迎します。
- ⑤ 陪餐の時、お互いの距離を十分とって、マスクは着用のまま、正面向かって右側後方の方から順に、座席後方から中央通路を聖卓に進みます。祝福を希望される方も同様に進みます。(陪餐・祝福を希望されない方は、着席のまま過ごします。)
- ⑥ 陪餐の直前にマスクを外し、手指を消毒します。
- ⑦ 陪餐するときは、手のひらで、司祭からパン、またはぶどう酒に浸したパンを受けとります。
- ⑧ 陪餐の後、マスクをつけて(必要があれば手指を消毒し)席に最も近い通路部分を通って席に戻ります。

3. 主日（日曜日）・週日の礼拝参加とグループなど

(A) 主日（日曜日）の礼拝に関して

- ① 聖堂の席は、密閉・密集・密接を避けるため、約 50 席に限られています。（入堂をお待ちいただき、別室にご案内させていただく場合があります。）
- ② 参加できる聖餐式／み言葉の礼拝は、当面、1 日 1 回までとします。
- ③ 主日の午前 7 時 30 分からの礼拝〔聖餐式／み言葉の礼拝〕、主日の午後 5 時からの礼拝〔夕の礼拝〕については、グループ分けはいたしません。
- ④ 主日の 10 時 30 分からの礼拝〔聖餐式／み言葉の礼拝〕は、参加の人数を分散するため、当面 3 つのグループに分かれて、それぞれのグループの教会員ごとに、決められた日に参加することができます。
- ⑤ 教会員の方を 3 つのグループに分けて、それぞれ A.B.C グループとします。
お名前の冒頭の文字によって以下のように分けます。（例：下条裕章（しもじょうひろあき）は「し」から始まるので B グループとなります。）
- ⑥ それぞれのグループをよく確認の上、主日の午前 10 時半からの礼拝については、そのグループが出席できる日に参加します。他グループでの礼拝への参加を希望するときは、教会に連絡し参加の了解を得るようにします。
- ⑦ 礼拝電話、聖堂の動画配信（教会ホームページより）を活用します。
- ⑧ こどもとともにささげる礼拝は、中学生以下とその家族、スタッフに参加者を限って行われます。日程や方式、また参加については担当者にお尋ねください。

グループ	名前の頭文字	礼拝（聖餐式またはみことばの礼拝）に出席できる日にち			※グループ分けや参加の方法などが変更されることがあります。 教会からのお知らせにご注意ください。
A	（名前の頭文字） あ行 か、き、く	2月 6日	2月27日	3月20日	
B	け、こ、 さ行、 た行、 な、 に	2月13日	3月 6日	3月27日	
C	ぬ、ね、の、 は行、 ま行、 や行、 ら行、 わ行、 ん	2月20日	3月13日	4月 3日	

※ご家族の場合に限り、グループ間の移動が受け付けられます。あらかじめ教会までご連絡ください。（複数のグループに重複して加わることはできません）

(B) 主日以外（週日）の礼拝に関して

- ① 定員を少なくして行います。事前に教会に連絡し参加の了解を得るようにします。該当は、月・火・木・金・土曜日、週日の教会暦祝日の 7:30〔聖餐式／み言葉の礼拝〕、第 1 水曜日の 10:30〔逝去者記念聖餐式〕です。

4. その他

- ① 入信の式、病者・牧会訪問などについては、遠慮なく牧師にお問い合わせください。
- ② 献金は、取り置いて、安心して教会に行くことができるようになったら、礼拝でお献げします。または安全に郵便局に行けるときは、郵便振替を活用します。
- ③ 教会施設の使用については、上の内容に準じて行います。
- ④ 自治体などによる具体的指針が発表された場合、基本的にそれに従うようにします。
- ⑤ ご自身、同居のご家族が感染したときや濃厚接触者と認められた時は、すぐに教会に一報します。(また念のため、日常の生活の記録をしておくことをおすすめします。)

5. 集会に参加するときに注意したいこと（許可を得て施設を使用する際にお守りいただくこと）

- ① マスクは着用したまま、集まりに加わります。
- ② 専用の手洗い場で手をよく洗ってから建物の中に入ります。
- ③ 建物・施設の入口で、手指の消毒をし、さらに不安があれば検温します。
- ④ 名前と連絡先を確認します。(感染が発生したとき、必要な連絡を取るため)
- ⑤ それぞれの席に着き、人と人との距離(1.5mほど)に注意し、できるだけ接触を避けます。
- ⑥ 集会での会話はマスクのまま、大声にならないように注意します。
- ⑦ 飲食は原則禁止とします。水分補給のため各自が持参した飲料に限り飲むことができます。
- ⑧ 「1. 礼拝・集会などに出かける前に」の項目を参照します。

6. 礼拝担当者（教会委員および有志により対応します）

- ① 礼拝前に教会施設内を確認し、礼拝の準備を整えます。
- ② 入口・受付の、検温、手洗い場、消毒器具の確認、礼拝用書、出席カード入れ、配布・回収物、案内掲示等の準備をします。また必要事項を記録し、次回の使用に向けて施設を整えます。
- ③ マスクなどを確認し、身支度をして来会者に備えます。受付に人が密集しないように誘導します。
- ④ 来会者に注意事項を確認してから必要なものを渡し席に案内し、席の位置を確認・記録します。
- ⑤ 礼拝中で信施/献金は集めません。入口の献金箱へお願いしてください。奉献の時箱を聖堂通路後方でささげ持ちます。
- ⑥ 礼拝中に体調不良となった方には、ショウホールで休んでいただき、必要な連絡をします。
- ⑦ 受付中もこまめな消毒に心がけ、来会者との接触に注意します。
- ⑧ 礼拝が終わったらごみを処理し、必要があれば来会者それぞれの席の清掃をします。
- ⑨ 出口などで密集しないよう案内しながら順次退出していただきます。

7. 礼拝奉仕者（教役者および有志により対応します）

- ① 礼拝準備の前に手指の洗浄消毒を十分にし、マスクをしたまま最小人数で準備を行います。
- ② 礼拝準備中、消毒していないものに手が触れたときは、速やかに消毒するようにします。
- ③ 礼拝奉仕者は、人と人との距離に十分注意し、マスクを着用して礼拝奉仕にあたります。
(司式者は聖品・聖卓、人と人との距離をとることができるときマスクを着用しないことができる)
- ④ 大声での発声を避けるため、音響装置を活用します。
- ⑤ 礼拝奉仕者がクリーデンス・テーブルのものに触れる前に、手指を消毒します。
- ⑥ 入退堂の時、人と人との距離を十分(1.5m程)にとります。
- ⑦ 礼拝後の片付けと下準備は、手指の洗浄消毒を十分にし、マスクをし無言で少人数で行います。
- ⑧ アコライト、オルターギルドのご奉仕についての注意点は別にお伝えします。
- ⑨ 礼拝での聖書朗読の奉仕を希望される方は、奉仕担当表(聖堂後方卓上)に記名します。

※社会的な状況や、教区の指示や調整のため、これらの内容は変更されることがあります。